

1 活動名

日本科学未来館視察

2 調査の目的**(1) 本市における課題**

科学教育の拠点である教育文化センターが老朽化或いは、展示施設内容が時代遅れといった状況にある。

(2) 調査の必要性

全国各地には、それぞれ現在の先端技術を使った内容の科学系展示体験施設があり、実際に確認し新施設の内容に反映させる必要がある。

(3) 調査項目

展示内容

3 調査地選定理由

日本科学未来館は、独立行政法人科学技術振興機構が運営する、いわば日本の最先端科学の紹介の場となっており、本市の新施設の内容を検討するに当たり参考となるものがあると考え選定した。

4 調査結果**(1) 実施日**

平成 29 年 8 月 19 日

(2) 出席者

3 名 近藤晴彦 上條美智子 勝野智行

(3) 結果

同館の館長は宇宙飛行士の毛利衛氏が務めており、最先端科学がとても興味深く飽きのこない内容で紹介していた。月・惑星探査計画、素粒子と宇宙、ニュートリノの観測、国際宇宙ステーション、ヒューマノイドロボット、有機 EL パネル 10,000 枚を使った球体表示装置 (Geo-Cosmos)、全天周型 3D ドームシアター等々、1 日では全く足りない内容となっていた。その他、様々な体験、実験のコーナーもあり、先端科学者との交流もできるようになっていた。

(4) 成果・所感等

小学生の年代にこのような施設を見学すれば、本当に強く興味を持つのではないかとされる。本市の新しい施設にも何か常に新しい内容を更新していける最先端科学技術の紹介コーナーが必要であると改めて感じたところである。今後の施設内容の検討に際して提案していきたい。

5 政務活動費**(1) 使途項目** 調査旅費**(2) 支出額** 「スタンドパイプ消火資機材設置事業について」と同様